

## はじめに

本ガイドラインは、震災・台風・落雷等の天災および火災・ガス漏れ・薬品漏れ事故等の人災を含めた災害(異常事態)を想定した場合の、クリーンルーム内作業のガイドラインを定めたものです。

なお、本ガイドラインと併せ、『災害発生後のクリーンルーム内作業事前チェックリスト』(以下事前チェックリストと称す)を参照して下さい。ガイドラインに記載の無い項目については、事前チェックリスト記載事項によるものとします。

## 基本原則判断基準

下記項目は人命第一とした入室作業許可判断するための基準です。

入退室判断および作業の最終判断は、本ガイドライン及び事前チェックリストを用いたお客様による安全確認が成された後に、各社の安全責任者、現場作業員、お客様対策本部の方々との合意の上、現場責任者が行うものとします。

また現場作業員が安全確保のため、危険と感じた場合、お客様の承認を得ずに作業中止や退避する場合があります。なお、お客様安全責任者の入室許可を伴った作業要請であることを前提とします。

### 1. 全体環境基準

- ① 行政地域の避難勧告、避難指示が出ていないこと。
- ② 地震の場合は、公的機関の発表を基本とし、安全を確保すること\*。
- ③ 現地への安全な交通手段・宿泊施設が確保されていること。
- ④ 通信手段が確保できること。
- ⑤ 食事や休憩が取れる場所がお客様構内または周辺で確保されていること。
- ⑥ 現地または現地の近くに医療施設があること。

\* 公的機関とは、文部科学省下の地震調査研究本部および気象庁(国土交通省)等を指す。  
日本国内の場合には、震度が5強以上の場合、地震発生後24時間以上経過していることが望ましい。また、その間に震度4あるいは5弱の地震が発生した場合は、震度5強以上の地震発生時から48時間以上経過していることが望ましい。なお、震度は、お客様工場内設置の震度計または近傍地点の測定値を指す。

### 2. お客様建屋内(クリーンルーム・サブファブ・付帯設備 他)環境基準

作業対象エリアの安全が実質的に確保されていることを両者が合意し、且つ退避経路が確保されていること。

なお、両者の合意は、事前チェックリストを用いた下記項目等の確認結果に基づいて成されるものとします。

- ① 作業エリアの照明が確保されていること。
- ② 一般排気、酸、アルカリ、有機排気等、作業に応じた排気が稼働していること。
- ③ 空調設備が稼働している、若しくはクリーンルームの換気ができること。
- ④ クリーンルーム内設置の保安設備(ガス検知器・火災警報等)が機能し、測定値が安全基準以下となっていること。
- ⑤ 作業エリアの床または天井に漏水や漏液が無いこと。
- ⑥ 全体図、通路、非常口等の避難経路が確保されており、入場者に分かり易く誘導の表示がされている。また館内放送または情報伝達ができること。
- ⑦ 作業エリアの床下グレーチングに破損が無く、転落の危険が無いこと。
- ⑧ 作業エリアの天井や稼働する無人搬送台車からの物品の落下が無いこと。
- ⑨ 通路および作業エリアが確保されていること。

\*\* 本ガイドラインはあくまで参考ガイドラインであり、災害時の人身・財産に対する安全を保証するものではありません。もしこれらに則って作業を実施した結果として、何らかの事故もしくは損害が自身または第三者に発生した場合であっても、SEAJは何らその責任を負うものではありません。

【おもて面】 入室前の確認項目 会社名：  建物：  日付： 年 月 日( ) 時 分 確認者サイン：

大項目	中項目	確認事項					
		確認ポイント	確認欄	気づき事項			
1. 安全確認	1)入室範囲確認	①入室範囲の確認	入室しようとしている範囲は明確になっていますか？				
		②作業区域の確認	作業を行う区域は明確になっていますか？				
	2)被害確認	①被害の把握	被害状況(人・施設)を把握できていますか？				
		3)避難場所	①避難場所の位置	緊急時の避難場所は確認できましたか？			
			②避難場所の周知	緊急時の避難場所を作業者全員が把握しましたか？			
		③避難後の連絡体制	避難後の連絡体制・方法は確認できましたか？				
	4)医療施設	①医療施設	医療施設の場所・稼働状況・連絡方法は確認できましたか？				
2. 入室時事前確認項目	1)CR内の把握	①全体図	クリーンルームの全体図を確認しましたか？(危険有害物の場所の把握等)				
		②非常口	非常口の位置を2箇所以上確認しましたか？				
		③対象装置の設置場所	対象装置、設備の位置を確認しましたか？				
	2)設備稼働状況	①空調	空調設備、換気設備は稼働していますか？				
		②ガス漏洩、酸欠検知手段	ポータブルガス漏洩検知器、酸素濃度計を携帯しましたか？				
		③照明	懐中電灯、照明等の有無を確認しましたか？				
		④電源	作業区域の電源供給状態を確認しましたか？				
		⑤漏水・漏液対策	漏水・漏液に備えてpH試験紙を携帯しましたか？				
		⑥火災警報器	火災・発煙警報器は稼働している状態ですか？				
	3)入室準備	①保護具・保護衣	必要な保護具・保護衣は使用できる状態ですか？(保護帽、安全靴、長靴、手袋等)				
		②緊急シャワー・洗眼器	位置・稼働状態を確認できましたか？				
		③連絡方法	外部との連絡手段(携帯電話・トランシーバ等)を確保しましたか？				
		④工具・測定器	必要な工具(工具、照明器具、検知器)を携帯しましたか？				
	4)入室事前判断	①入室可否の最終判断	二次災害発生の可能性は低いと判断できましたか？(ガス、酸欠、薬品等)				
	自由記入欄				入室可	可・否	責任者サイン

※ 本リストは「災害発生後のクリーンルーム内作業に関するガイドライン」の内容をご理解のうえ、お客様にて実施して頂きますようお願いいたします。

※ 本リストは、チェック完了後の安全宣言時に、各社の安全責任者に開示して下さいますようお願いいたします。

※ これらはいくまで参考チェックリストであり、災害時の人身・財産に対する安全を保証するものではありません。もしこれらに則って作業を実施した結果として、何らかの事故もしくは損害が自身または第三者に発生した場合であっても、SEAJは何らその責任を負うものではありません。

【うら面】 入室後・作業前・退出時の確認項目

「必ず2人以上で入室すること」

確認者サイン:

大項目	中項目	確認事項			
		確認ポイント	確認欄	気づき事項	
3. 入室後確認項目	1) 室内環境	①空調	空調設備、換気設備は稼働していますか？異常な臭気はありませんか？		
		②照明	照明は点灯する状態ですか？		
		③電源	作業区域に電源は供給されていますか？		
	2) 建屋状態	①床面	床面(グレーチング・パイル)に破損・滑り・落下等の異常はありませんか？		
		②通路・階段	通路・階段に破損・損傷・倒壊・危険物等の危険要因はありませんか？		
		③飛来・落下物	飛来・落下物はありませんか？		
		④漏水・漏液状態	床面に薬液の漏洩はありませんか？漏洩薬液のpHを確認しましたか？		
⑤壁面		壁面に破損、損傷、倒壊等の危険要因はありませんか？			
	⑥消火器	消火器、消火設備は使用できる状態ですか？			
4. 作業前確認項目	1) 建屋	①避難経路・非常口	避難経路・非常口は使用できる状態ですか？		
		②立入禁止エリア	立入禁止エリアの表示・設置はされていますか？		
		③作業エリア	安全な作業エリアが確保できましたか？		
	2) 状況確認	①電源	電源ラインに断線・漏電等の異常はありませんか？		
		②配管	配管ラインに破損等の異常はありませんか？		
	3) 検知器・警報器	①火災警報器	火災・発煙警報器は動作していますか？(表示ランプ等)		
		②ガス漏洩検知器	ガス漏洩検知器、酸素濃度計は動作していますか？(表示ランプ等)		
		③漏水・漏液検知器	漏水・漏液検知器は動作していますか？(表示ランプ等)		
	4) 装置・機器	①破損の有無	装置に破損、損傷はありませんか？		
	5. 退出時確認項目	1) 生成物	①有害物質の付着	作業者に有害物質は付着していませんか？	
2) 健康確認		①体調の確認	体調不良はありませんか？		
3) 廃棄物		①廃棄物の確認	作業における廃棄物は規定通りに処置しましたか？		
自由記入欄				総合確認	責任者サイン

※ 被災者を発見した場合はまず関係部署に連絡して下さい。決して1人で対処しないようにして下さい。

会社名 :	建物 :	日付 :     年   月   日 ( )	確認者サイン :
-------	------	------------------------	----------

大項目	中項目	確認事項				
		確認ポイント	確認欄	気づき事項		
1. 安全管理	1) 入室範囲確認	①入室範囲の確認 入室しようとしている範囲は明確になっていますか？				
		②作業区域の確認 作業を行う区域は明確になっていますか？				
	2) 被害確認	①被害の把握 被害状況(人・施設)を把握できていますか？				
	3) 避難場所	①避難場所の位置 緊急時の避難場所は確認できましたか？				
		②避難場所の周知 緊急時の避難場所を作業者全員が把握しましたか？				
		③避難後の連絡体制 避難後の連絡体制・方法は確認できましたか？				
4) 医療施設	①医療施設 医療施設の場所・稼働状況・連絡方法は確認できましたか？					
5) 健康管理	①健康管理 作業者に疲労が蓄積されていませんか？応援要請の必要はありませんか？					
6) 入室判断	①入室可否の判断 二次災害の防止方法を確認しましたか？(ガス、酸欠、薬品等)					
2. クリーンルーム内及び Sub-Fab等の安全確認	1) CR内の把握	①全体図 クリーンルームの全体図を確認しましたか？				
	2) 保安設備稼働状況	①空調 空調設備、換気設備は稼働していますか？				
		②ガス漏洩、酸欠検知手段 ガス漏洩検知器、酸素濃度計は稼働している状態ですか？				
		③照明 照明は点灯する状態ですか？				
		④電源 作業区域の電源供給状態を確認しましたか？				
		⑤漏水・漏液確認 漏水・漏液検知器は稼働している状態ですか？				
		⑥火災警報器 火災・発煙警報器は稼働している状態ですか？				
	3) 入室準備	①保護具・保護衣 必要な保護具・保護衣は使用できる状態ですか？				
		②緊急シャワー・洗眼器 位置・稼働状態を確認できましたか？				
		③連絡方法 外部との連絡手段(携帯電話・トランシーバ等)を確保しましたか？				
		④工具・測定器 必要な工具(工具、照明器具、検知器)を携帯しましたか？				
	4) 建屋状態	①床面 床面(グレーチング・パイル)に破損・滑り・落下等の異常はありませんか？				
		②通路・階段 通路・階段に破損・損傷・倒壊・危険物等の危険要因はありませんか？				
		③飛来・落下物 飛来・落下物はありませんか？				
		④漏水・漏液状態 床面に薬液の漏洩はありませんか？漏洩薬液のpHを確認しましたか？				
		⑤壁面 壁面に破損、損傷、倒壊等の危険要因はありませんか？				
		⑥消火器 消火器、消火設備は使用できる状態ですか？				
	5) 建屋	①避難経路・非常口 避難経路・非常口は使用できる状態ですか？				
		②立入禁止エリア 立入禁止エリアの表示・設置はされていますか？				
		③作業エリア 安全な作業エリアが確保できましたか？				
	6) 装置・機器	①破損の有無 装置に破損、損傷はありませんか？				
	自由記入欄			入室可否	可・否	サイン 顧客責任者   ベンダー責任者

- ※ 本リストは、「災害発生後のクリーンルーム内作業に関するガイドライン」の基準を満たしたうえで、使用してください。
- ※ 本リストは、装置復旧等のためにお客様安全責任者から入室を依頼された時に使用してください。
- ※ これらあくまで参考チェックリストであり、災害時の人身・財産に対する安全を保証するものではありません。もしこれらに則って作業を実施した結果として、何らかの事故もしくは損害が自身または第三者に発生した場合であっても、SEAJは何らその責任を負うものではありません。